

留萌ダム

監査廊見学も行いました
市民の方々と幌糠小学校の児童が植樹を体験



平成24年9月13日、ダム周辺を豊かな森にするため一般参加の市民の方々と市立幌糠小学校の児童が植樹を実施しました。

ミスナラ、エノヤマザクラ、シラカンバなど各サークルに9種類を植え込みました。この植樹の手法は生態学混播混植という技法で、直径約3mのサークル内に種類の違う苗木を植え込むものです。

この日、参加者は3班に分かれて、専門家のアドバイスを受けながらショベルを用いて丁寧に作業を行いました。

また、植樹作業終了後にはダム監査廊の見学を行い、ダムの役割や構造などの理解を深めました。監査廊内の気温が年間通して10℃前後のため、参加者の方々はあまりの涼しさに驚いていました。

